



漫画くっちゃん昔ばなし  
第2章  
「倶知安の夜明け」

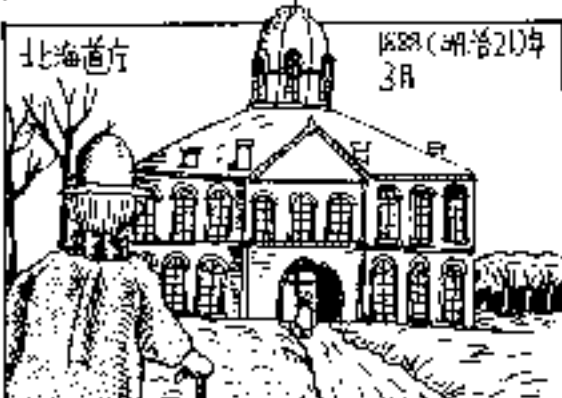
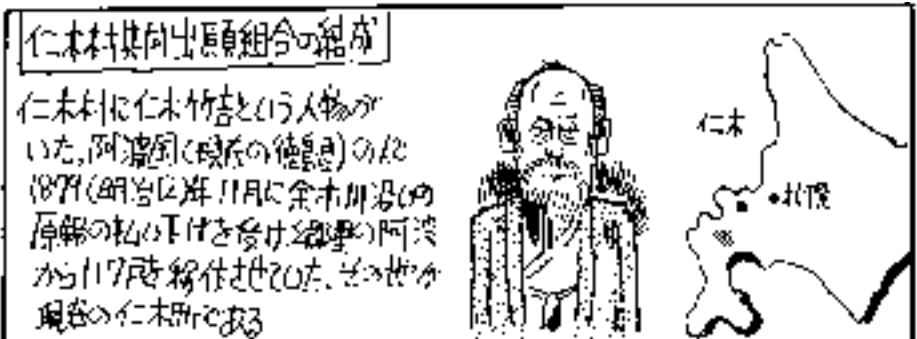
©2018一般社団法人倶知安観光協会

「漫画くっちゃん昔ばなし」-第2章-  
**倶知安の夜明け**



明治維新から10数年が過ぎた頃  
倶知安という地名は当時の地図にも  
まだなかった。この地に住む人はまだ  
シヨツ川(現ソウダ川)、シリベツ川左岸  
羊蹄山に沿ったオホカキアイヌの人たちの  
通る細い道があるだけだった。

制作  
一般社団法人  
倶知安観光協会

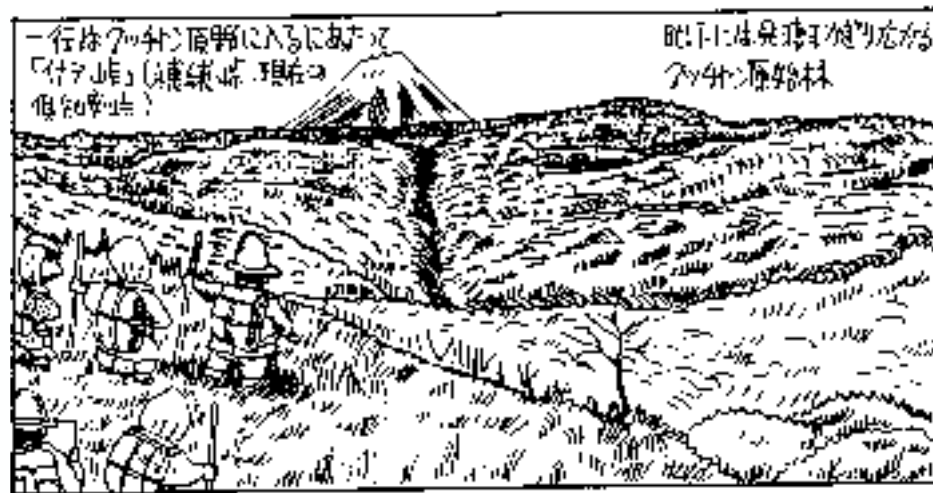


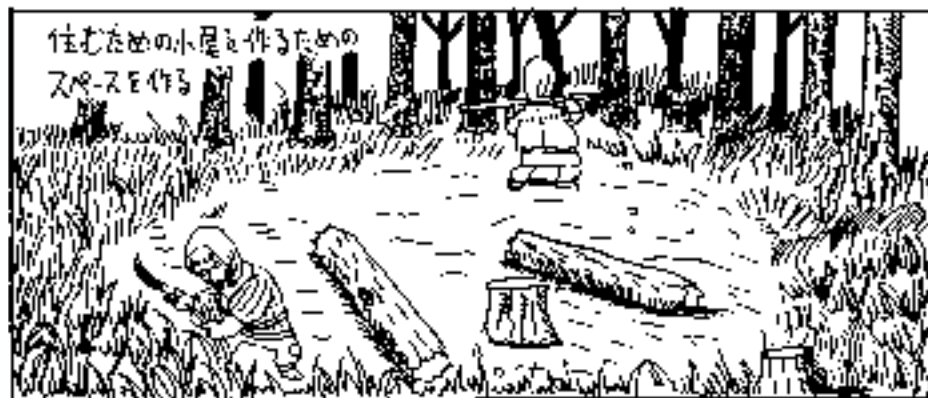
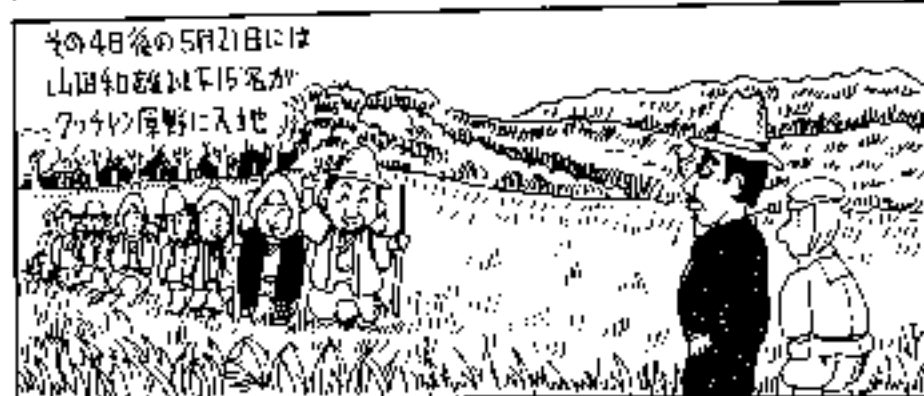
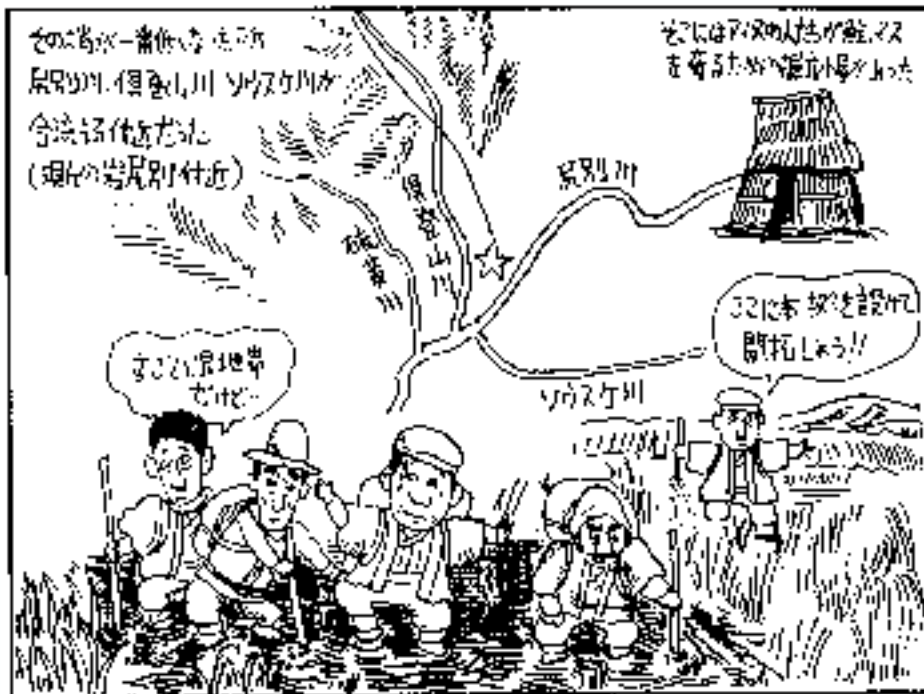


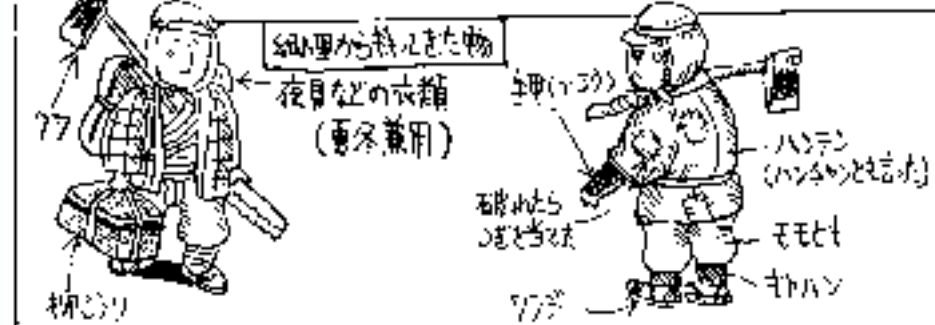
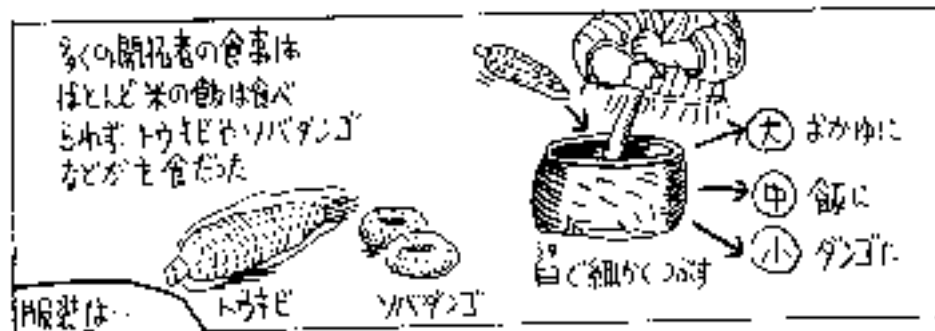
その条件は

1. 一戸分を5町歩とする
2. 組合加盟者は一戸分(5町歩)に  
対し 出願費用3円を出資する。  
希望によっては何戸分でも申し込み  
に応じる
3. 小作人に借料として一戸分  
30円ずつ支給し 6年で返済  
させる











→は 1893(明治26)年7月  
南1線西7号(現宮垣橋村丘)  
に建てた 鈴木地軸製造所。

岩内の鈴木天吉が地軸製造  
67歳 約20歩(→は1892年秋)に  
を明治26年～35年までの10年間  
借り受け操業を始めた

この地軸工場は  
入地者に原木を切り出す  
作業を

トウモロコシや野菜などの農産物を  
提供する市場を与えてくれた  
強さめた入地者たちもそれによっ  
てどうにか生活ができるようになった

もう一つは 経営の又進歩所  
1894(明治27)年2月グイタクス  
(現豊岡)の開業

神貞内の大崎龜吉、岩内の 安達定吉  
総部謙次郎の3人で設立  
最盛期には従業員40名に達した

この私塾(グイタクスの)地に  
最初の小学校ができたわけに  
なりました

経営者たちは工場に  
勤める従業員の子供の  
ために岩内から教師を  
呼び寄せ、私塾を開いた

1893(明治26)年11月  
三浦海造らから白土武蔵重吉が  
グイタクスの原野の地権を調査する  
ためにやってきた

どうも  
彼(地権者)に  
なるらしいぞ

えっ!!

5人くらいは  
いるよ

翌月12月(6日)北海道は  
伊知申(747)木造設置  
伊知申の字には「伊知」に  
吉き知申の意を込められた

国・郡は 岩内郡 岩内村 伊知申  
現在の京極町と三浦町の  
一帯も含む広大な土地の  
管理は 岩内村だった

伊知申

1894(明治27)年10月  
御料林からの解除が決定!  
1895(明治28)年3月1日公募開始  
既に入地していた仁木村からの  
阿波田徳 13戸の管下願書が  
受理される

苦勞の末に、やがて報わられた  
瞬間だった!!

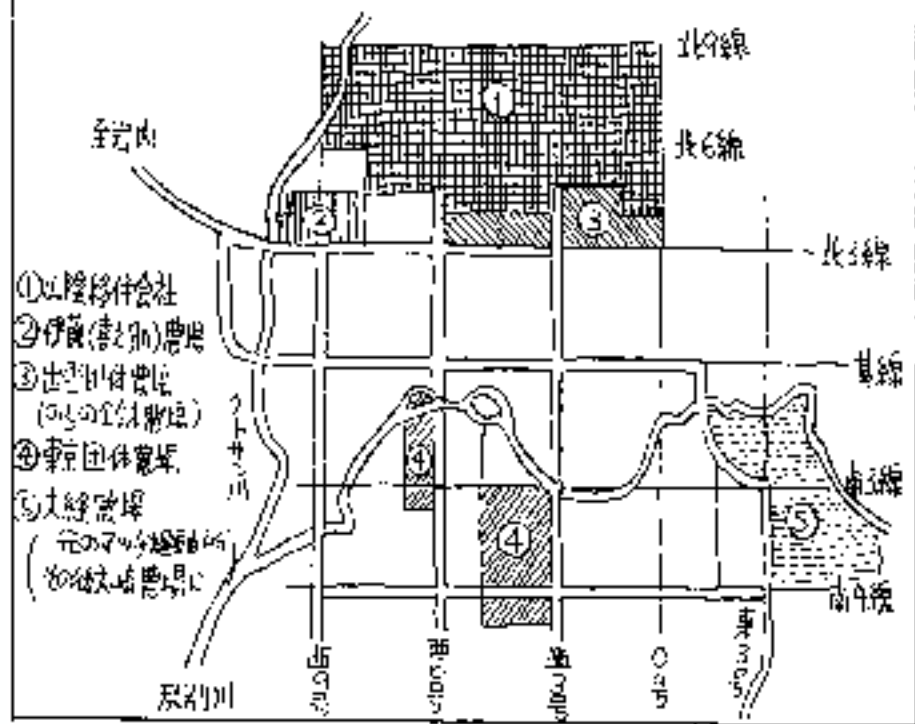
また出願組合とは別に  
個人として入植した人も  
同じように管下願書を  
提出した

阿波田徳 三浦重三郎



# 他府県から団体移住

1895(明治28年)から多くの団体移住が始まった



漫画くっちゃん昔ばなし  
第2章「俱知安の夜明け」  
2018.1.15

制作：一般社団法人 俱知安観光協会  
 監修：元俱知安風土館館長 矢吹俊男 岡崎毅  
 漫画：石川寿彦  
 編集：有限会社エーピーアイ  
 ©2018一般社団法人 俱知安観光協会